

警 察 署 協 議 会 会 議 録

中央警察署協議会

開催年月日時	令和7年5月22日 午後4時30分 から 令和7年5月22日 午後5時45分 まで	
開催場所	中央警察署6階大会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下15名
	警察署	署長、副署長、会計管理官、生活安全管理官、地域管理官、刑事管理官、交通管理官、警備管理官、総務第二課長、事務局
議 事 概 要		
【署長挨拶（要旨）】 ○ 委員の皆様方には、平素から中央警察署の各種活動に大変深い御理解・御支援をいただきお礼申し上げます。 ○ 警察署協議会は、平成11年から平成12年に相次いで発生した警察官の不祥事を契機に、国民の要望・意見の把握及び誠実な対応を実現するための施策の一つとして設立されたものである。 ○ 皆様方には地域の方を代表して意見を出していただき、私たち警察はいただいた意見に真摯に対応していきたいと考えている。 【警察署幹部自己紹介】 警察署幹部による自己紹介 【新規委嘱委員に対する委嘱状交付等】 ○ 新たに委嘱された中央警察署協議会委員5名に対する委嘱状の交付 ○ 新たに委嘱された委員による自己紹介 【報告事項】 1 若手警察職員による意見発表（会計係員、事件捜査係員、自動車警ら係員） 2 警察署協議会会長連絡会議の開催結果報告（会長） 【質疑応答・意見】 ○ 会長から「若手警察職員が皆の前で堂々と発表する姿を見て、警察学校卒業からここまで色々なことを経験し、成長されたのだと感じた。」旨の感想があった。		

議 事 概 要

- 会長から「最近、会社にインコが迷い込み、数日会社で世話した後、無事に飼い主に返還したという出来事があった。警察は迷い動物の届け出を受けた際、どのように対応しているのか。」旨の質疑があり、会計管理官から「まずは、遺失届が出されているかを確認する。その後の対応は、人に飼われている動物か否かで対応が違い、インコ等の飼われている様子がある動物については、拾得処理を行う。所有者の判明しない犬・猫は、動物愛護管理法に基づき県等が対応を行う。また、動物への虐待が疑われる場合は捜査を進めていくことになる。」旨の回答があった。
- 委員から「女性警察官が勤務できない交番があるという説明があったが、どのような理由で勤務できないのか。」旨の質疑があり、地域管理官から「女性用のトイレや仮眠室等の設備がない交番には、女性警察官を配置していない。以前に比べて女性警察官の採用は増えているので、今後、交番建て替えの際はその点を考慮して施設の整備を進める予定である。」旨の回答があり、更に署長から「以前は女性用設備がない交番にも女性警察官が配置され、勤務していたが、職場環境の改善が図られ、現在は配置していない。今は設備改修に向けた移行段階である。」旨の回答があった。
- 委員から若手警察職員に対し「警察職員になって良かったと思うのはどのようなときか。」旨の質疑があり、会計係員から「拾得物を無事に持ち主に返還でき、不安そうにしていた持ち主が笑顔になったときである。」、事件捜査係員から「取調べを通じて少年の心に変化が見られ、少年を保護者に引き渡す際に、少年が反省の言葉を保護者に伝え、それを聞いた保護者が安堵するような表情を見せたときである。」、自動車警ら係員から「現場臨場した際、事件の被害に遭った女性から「女性警察官が来てくれてよかった。ありがとう。」と言われたときである。」旨の回答があった。
- 委員から「取調べ時に少年の気持ちに寄り添い、心と心の触れ合いが図られていることに心を打たれた。警察官も警察行政職員も大変なことがあると思うが、これからも頑張っていたきたい。」旨の感想があった。
- 委員から「限られた予算の中で消耗品の購入に苦労しているという説明があったが、ペーパーレス化は用紙削減の有効な手段である。私たちの会社もペーパーレスに向けて様々な取組をしているので参考にしていきたい。」旨の意見があった。
- 副会長から「先日、警察学校で行われたファーストレスポンス実戦訓練を見学した。訓練があるということは、実際に危険な現場もあるのだと思う。警察官が危険な職務にも精一杯取り組んでいることをもっと県民の方が知る機会があれば良いと思った。」旨の意見があった。

議 事 概 要

- 委員から「ファーストレスポンス実戦訓練を見学し、警察官が刃物所持などの危険な現場を想定した訓練を積み重ね、私たち県民を守ってくれているということを実感できた。多くの方に訓練を見ていただければ、より警察官を頼もしく思い、安心して暮らせる人が増えるのではないかと思った。」旨の意見があった。

【閉会】

以上で令和7年度第1回中央警察署協議会を閉会する。

